

超高速・大容量通信

5G・6G ソリューション

PR

有力企業の製品・技術

順不同

サンマックス

サンマックスは水圧機器の高度な技術力と開発力を背景に、多段式水圧シリンダーや水圧アクチュエーターなどを、防災や食品、医薬産業に提供している。移動体通信向けには車載などの基地局の伸縮可能なアンテナポールとして実績を持つ。

伸縮水圧ポール「角型アクアポール」は環境と安全性を考慮。圧力1メガの低いエネルギーで伸縮・駆動するため車載機器や電源の影響が少なく、圧力源が水なので周囲環境の汚染がない。シリンダー部分は角ガイド内に丸ポールを内蔵した2重構造で、従来のキー溝構造のシリンダーに比べてねじれに非常に強い。重量がある5Gアンテナを搭載するには最適である。

荒川化学工業

荒川化学工業は松ヤニ由来のロジンをはじめとするバイオマス材料を活用した製品開発を行っている。エレクトロニクス分野向けにも独自のポリマー設計技術によって電気特性、耐熱性に優れた素材の開発に成功し、5G・6G用途に適用可能なバイオマス製品を提案している。同素材は半導体パッケージ基板およびプリント基板向け低誘電材料として有用で、平滑銅箔との接着性に優れていることから、低伝送損失に優れた高周波（RF）回路基板を実現できる。

同社はサステナビリティ（持続可能性）に向けた取り組みとしてエレクトロニクス分野においてもバイオマス材料の活用を推進。持続可能な社会の実現に貢献する。

第5世代通信（5G）は超高速・超大容量・多数同時接続・超低遅延を実現する。地域限定で用いる「ローカル5G」や、次世代通信規格の第6世代通信（6G、ビヨンド5G）も注目され、通信市場拡大に期待が高まっている。

モバイル技術・国際見本市 非地上ネット 日本勢が披露

と云える。

5Gは4Gの一つであるLTEと比べて、データ通信速度は約100倍の1秒当たり10ギガ、伝送時の遅れは10分の1となる1ミリ秒と高い利便性を誇る。5Gは6ギガ以下の周波数帯を用いたSub 6（サブシックス）と、24ギガ以上の周波数帯を用いたミリ波に分けられる。ミリ波は超高速・大容量通信が可能だが、直進性が高く障害物に弱い特性がある。Sub 6はミリ波に比べ遮蔽物に強い。

MM総研が2月に発表した「2023年国内携帯電話端末の出荷台数調査」によると、23年の国内の5Gスマートフォンの出荷台数は2603万1000台で、スマートフォン台数全体の99・0%を占めた。5G対応にはほぼシフトした一年

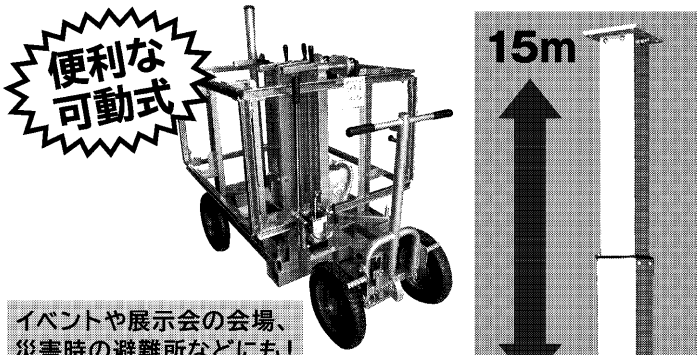
エーズ移行による成長を見込んでいる。このように5Gの利便性が高まっている。2月26日から29日までスペインのバルセロナで、モバイル技術の見本市である「モバイル・ワールド・コンGRESS（MWC）」が開催された。日本からは総務省がシ

ネットワークの取り組みなどを紹介した。6月5日から7日までの3日間、愛知県滑市のアイチ・スカイ・エキスポで、スマートフォンメーカーが集まる「IA EXPO」が開かれる。構成展の一つである「次世代通信T ech」では、6Gの実装に向けた技術や、5G・6Gを活用したサービスなどが披露される。

San-Max 捻れに強いアルミ四角型

— 水圧式だから環境の負荷無し! —

5G携帯電話アンテナ用伸縮ポール



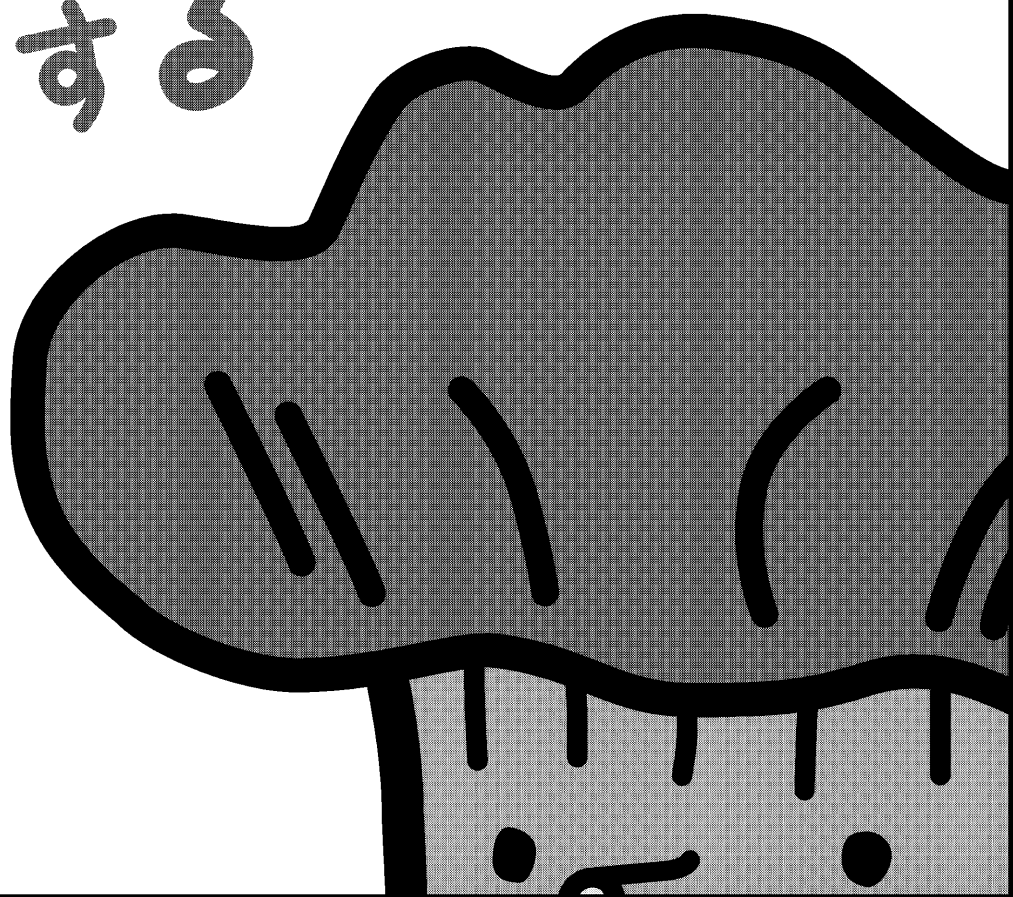
イベントや展示会の会場、災害時の避難所などにも!

水圧シリンダー技術のサンマックス

サンマックス株式会社

〒342-0005 埼玉県吉川市大字川藤2622
TEL 048-981-5329 FAX 048-982-4011
URL <http://www.sanmax.co.jp/>

つなぐを 化学する



荒川化学工業株式会社